



# 10代のあなたに

## 今のうちにいっぱい読んでおこう！

—第9集—

平成25年7月：発行

\*貸出中の本には、予約をどうぞ！

	タイトル	著者名	出版社	発行年	請求記号	内容
1	二年間の休暇 上下	ジュール・ヴェルヌ	岩波書店	2012	08 イ-603	休暇で6週間の航海に出た寄宿学校の生徒たち。ところが船が流され、嵐の果てに無人島に漂着する。少年たちは、力を合わせ、島での生活を築きあげていく…「十五少年漂流記」として知られる傑作冒険小説。
2	不登校、選んだ わけじゃないんだぜ！	貴戸理恵	理論社	2005	37 7	「不登校は病気じゃない、自分で選んだんだ」。そう言った瞬間にこぼれ落ちていく本当の気持ち。元小学校不登校者の研究者と元明るい不登校エリートが、不登校ハッピーエンド説を蹴散らし、リアルな言葉を探る。
3	心の国境をこえて	ガリラ・ロンフェデル・アミット	さ・え・ら書房	1999	92 コ	医者になって、地域医療につくしたい。それが、ナディアの夢だった。そのためにナディアはのどかなアラブ村を出て、ユダヤ人の寄宿学校に入学する。「自分がアラブ人だってことを恥に思っちゃいかんぞ」という、父さんのことばを胸に。
4	愛のうたをききたくて	サラ・デッセン	徳間書店	2008	93 ア	結婚と離婚を繰り返す母親のせいで、愛を信じられないレミーは、高校を卒業した夏、1人のミュージシャンに出会い…。様々な人間模様を織り込みながら、レミーが愛を信じるまでを繊細に綴った、珠玉のYA作品。
5	青いイルカの島	スコット・オデル	理論社	2004	93 ア	鳥やけものを友に18年。ひとり孤島に取り残された少女は、孤独と闘いながらその歳月を生き抜いた…。アメリカ西海岸で本当にあった物語。同名のタイトルで映画化された不朽の名作。
6	生命(いのち)の 炎は高く	マーク・シュライバー	借成社	2000	93 イ	「ライアン、何になれたかなんてことは考えないんだ。それよりも今の自分を大切にすんだ。」生命に限りある青春を精いっぱい生きる少年たちは、キャンプ生活を通して明日への希望をも手にする。
7	生きのびるために ～希望の学校(全4冊)	デボラ・エリス	さ・え・ら書房	2002	93 イ	23年間も戦争に明け暮れた国アフガニスタン。生きのびるために少女バヴァーナは髪を切り、少年となって働く。タリバンに支配されたカブールの町の様子と人々の暮らしを克明に描いた物語。さまざまな少女の生き方を描いた続編有り。
8	ヴァイオレットが ぼくに残してくれたもの	ジェニー・ヴァレンタイン	小学館	2009	93 ヴァ	ある日、偶然出会った見知らぬ人の骨壺が、僕を目覚めさせてくれた…。失踪した父親をめぐる秘密を探って行くうちに、見えてきたものとは。ユーモアたっぷりのミステリー小説。ガーディアン文学賞受賞作。

	タイトル	著者名	出版社	発行年	請求記号	内 容
9	おれの墓で踊れ	エイダン・チェンバース	徳間書店	1997	93オ	16歳の少年ハルが、「死んだ友人の墓を損壊した」という罪で逮捕された。だが「なぜそんなことを」という問いに、ハルは答えようとしぬ。深夜、18歳で死んだ友人バリーの墓で、ハルは何をしようとしていたのか。バリーはなぜ死んだのか…。
10	贈りものは宇宙のカタログ	青木由紀子	岩波書店	1992	93オ	父親を知らないで育ったアンジェラは、母の話からヒントを得て父を探し出し強引に対面するが、そのとたんに失望と挫折を味わう。この事件をきっかけに、母親との、またボーイフレンドとの関係に不思議な変化をみせはじめる…
11	川の少年	ティム・ボウラー	早川書房	2003	93カ	15歳の少女・ジェスの大好きなおじいちゃんが倒れた。ジェスはおじいちゃんの故郷の川で出会った不思議な少年の力を借りて、死を目前にしたおじいちゃんと心を通わせるが…。カーネギー賞受賞作。
12	かかし	ロバート・ウェストール	徳間書店	2003	93カ	ママが再婚した画家・ジョーの家で夏休みを過ごすはめになったサイモンだが、新しい生活にどうしてもなじめず…。継父への憎悪を募らせ、追い詰められていく少年の心理を鮮やかに描く。英国カーネギー賞受賞作。
13	キリエル	A. M. ジェンキンス	あかね書房	2011	93キ	地獄の仕事にあきた墮天使キリエルは、地上で少年の体をのっとり休日を楽しむことに。しかし、すぐに「神の使い」からの警告が。残り少ない休日をどう過ごす…。ユニークでちょっと切ない墮天使の青春体験記。
14	さまざまな出発(たびだち)	ゲイリー・ポールセン	くもん出版	1993	93サ	さまざまな場所で、さまざまな若者たちが、それぞれの人生を見つめ、それぞれの歩む道を見つけ出そうとしている。インディアンの娘、メキシコの少年…ほかにも、立場は違っても共感できる物語。
15	死の鐘はもうならない	J・P・ウォルシュ	国土社	1985	93シ	ある村にペストが広がった。一人亡くなるたびに、教会の鐘が鳴る。5人に4人が亡くなってやっと鐘も鳴らなくなった。この地獄を生き残った少女が、ものを書くことでようやく立ち直る物語。
16	シャーロット・ドイルの告白	アヴィ	偕成社	1999	93シ	殺人罪で告発されて裁判にかけられ、有罪とされた13歳の少女シャーロット。19世紀、イギリスからアメリカへ帰る船上で、船員たちの、冷酷な船長への復讐計画にまきこまれ、優雅な令嬢の生活から、たちまちスリルと冒険にみちた世界へと投げこまれた。
17	転校生は、ハリウッドスター	ジェン・キャロニタ	小学館	2009	93テ	ハリウッドのティーンアイドル・ケイトリンは、誰もがうらやむセレブ。でも、彼女の夢はふつうの高校生になること。ある日、親友の高校に変装してもぐり込むことを計画するが…。わくわくドキドキの友情物語。
18	時をさまようタック	ナタリー・バビット	評論社	1989	93ト	その水を飲めば永遠の命が得られるという泉の秘密をまもるため、ウィニーは思いもかけない事件にまきこまれてゆく。永久に生き続けることの苦悩、あらゆる命への愛が心にしみる、傑作ファンタジー。
19	トゥルー・ビリーヴァー	ヴァージニア・ユウワー・ウルフ	小学館	2009	93ト	ラヴォーンの人生の目標は大学に行くこと。でも、彼女の毎日は悩みごとでいっぱい。初恋、友情、別れ、裏切り…。前向きに生きていく少女の感動物語。全米図書賞、ゴールデンカイト賞など受賞作品。
20	とどろく雷よ、私の叫びをきけ	ミルドレッド・D・テラー	評論社	1981	93ト	ミシシッピに住むローガン一家。さまざまな差別と偏見に満ちた状況の中で、近所の家が焼かれ、黒人であるがゆえに殺されていく事件が引き続きおこっていく時代。ローガン家は、祖父の代からの土地を、どんな無理をしても守ろうとみんな力をあわせている。

	タイトル	著者名	出版社	発行年	請求記号	内 容
21	難民少年	ベンジャミン・ゼファニア	講談社	2002	93ナ	家がない、お金がない、学校に行けない、家族と暮らせない、命を奪われるかもしれない、アフリカに戻れるのはいつの日だろう…。エチオピアとエリトリア、争いあう2つの祖国をもつ14歳の「難民」少年の青春物語。
22	バドの扉がひらくとき	クリストファー・ポール・カーティス	徳間書店	2003	93バ	バドが6つの時にママが死んだ。10歳になったバドは、まだ見ぬお父さんを捜しにいく…。もちまへの明るさと知恵で困難を乗り越えていく黒人少年の姿を描く感動的なヒューマンコメディ。ニューベリー賞受賞作。
23	15歳の夏	ローレン・ブルック	あすなろ書房	2006	93ハ1	幼い頃から馬に親しみ、何よりも馬を愛する少女エイミー。馬を癒す天才的な能力を持つ母と共に、厩舎ハートランドで、たくさんの馬を救ってきた。しかし嵐の夜、一家に悲劇が…。さわやかなガールズ青春ストーリー。
24	ビリー・ジョーの大地	カレン・ヘス	理論社	2001	93ビ	1934年オクラホマ州に暮らす少女を主人公に、農夫の父、身ごもった母の一家をおそう火事と悲劇。日記のような詩、詩のような小説で描く、14歳の少女の強靱で無垢な魂の叫び。
25	ピーチズ・初恋	ジョディ・リン・アンダーソン	小学館	2009	93ピ	まったくタイプが違う少女3人が、ひと夏を果樹園で一緒に過ごすことになった。出会い、別れ、うらぎり。この経験は、忘れることのできない貴重な経験だった…。スウィートでせつない恋と友情の物語。
26	ピーチズ・卒業	ジョディ・リン・アンダーソン	小学館	2010	93ピ	ペカンクイーンになったリーダ、ニューヨークの大学へ行くのが夢のマーフィー、恋する人を追いかけていバーディー。果樹園で友情を深めた3人に新しい季節が始まる。自分探しのスウィートでせつない恋と友情の物語。
27	ミアの選択	ゲイル・フォアマン	小学館	2009	93ミ	雪の日、家族とドライブに出かけたミアは交通事故に遭う。何が起きているのか、どうしたらよいかわからないミア。ミアの頭の中には、楽しかった思い出が蘇って…。映画化決定、涙が止まらないラブストーリー。
28	夜中に犬に起こった奇妙な事件	マーク・ハットン	早川書房	2003	93ヨ	近所の飼い犬が殺された。自閉症の少年クリストファーは、探偵として犯人を捜しつつ、事細かに記録を取る。やがて驚くべき事実が…。事件を通して成長していく少年の心を描いた、「アルジャーノン」を超える感動作。
29	調子っばずれのデュエット	バルト・ムイヤールト	くもん出版	1998	94チ	はじめての恋に胸ときめかせ、まいあがる、ランダーとリセロット。ふたりの心は、ぴったりと合ったデュエットを奏でていた。なのに、ほんのささいな出来事から、ふたりの気持ちはすれちがいます。そして、学校のダンスパーティーの夜…。
30	ブリットーマリはただいま幸せ	アストリッド・リンドグレーン	徳間書店	2003	94ブ	スウェーデンの小さな町に住む15歳の少女がペンフレンドに向けて語る、日々の豊かな暮らし、初恋、家族の絆…。「子どもの本の女王」と称され、世界中から愛されたリンドグレーンの幻のデビュー作、本邦初訳。
31	ヤンネ、ぼくの友だち	ペーテル・ポール	徳間書店	1997	94ヤ	真っ赤な髪の毛をなびかせ、自転車に乗って、ヤンネは突然ぼくのまえに現れた。そばかすだらけの白い肌、女の子みたくにきゃしゃな体つきでも、「ヤンネ」という名の男の子だ。かけがえのない親友になっていくが、ヤンネの正体は謎につつまれたままだった…
32	ふるさと60年	道浦母都子	福音館書店	2012	Eフ	定点観測の手法で、戦後の1946年から現在まで、ある町の変貌と、男の子と女の子の成長を描いた大型絵本。日本が歩んできた道と未来へ向かう希望が描かれる。家族3世代がともに楽しむ原風景。

	タイトル	著者名	出版社	発行年	請求記号	内 容
33	数(かず)の悪魔	ハンス・マグヌス・エンツェンスベルガー	晶文社	2000	410 エ	算数や数学なんて大嫌い！そんな少年ロバートの夢のなかに、夜な夜な、奇妙な老人「数の悪魔」があらわれ、真夜中のレッスンがはじまる。数学なんてこわくない。先生が魔法のステッキをひとふりすれば、数の法則が目からウロコが落ちるようにわかるのだ。
34	哀しみの星	新堂冬樹	角川書店	2012	913.6 シ	誰にも心を開かない女子高生の沙織。過去にトラウマを抱える彼女は、ある日盲目の青年と出逢った…。母に殺されかけた少女と盲目の青年の魂の物語。ふたたび涙腺を刺激する、新たな恋愛小説の誕生。
35	くちびるに歌を	中田永一	小学館	2011	913.6 ナ	拝啓15年後の君へ。合唱コンクールの課題曲にちなみ、15年後の自分に手紙を書く部員たち。その手紙には、誰にも話せない、等身大の秘密が綴られていた…。かつてない幸福感が訪れる切なくピュアな青春小説。
36	胸いっぱいのお愛を	広谷鏡子	徳間書店	2012	913.6 ヒ	高校野球とロックをこよなく愛する少女・高山桂子は、ひよんなことから野球部のマネージャーになり、甲子園を目指す日々…。あたたかで、平和で、のんびりとした時代に生きていた若者たちの青春物語。
37	武曲(むこく)	藤沢周	文藝春秋	2012	913.6 フ	「剣道は殺し合いか」。猜疑に苦しむ男の前に現れた、天衣無縫の少年。2人が運命の一戦を交えるまでの一季節を、煌く言葉で描きだす。言葉と武道の奇跡ともいえるコラボレーション。武道系部活小説誕生。
38	兵士ピースフル	マイケル・モーパール	評論社	2007	933 モ	ほんのわずかで、戦場に行くことに決めたのだ。兄のチャーリーと一緒に…。明日、チャーリーは銃殺刑になる。ぼくを守ってくれた勇敢な兄。不当に歪んだ悲惨な戦場で、哀切にきらめく兄弟愛の物語。
39	戦火の馬	マイケル・モーパール	評論社	2012	933 モ	第一次世界大戦前夜のイギリス。美しい馬ジョーイが、農場の少年アルバートと出会い、深い絆で結ばれる。戦争が始まり、ジョーイは軍馬として戦場へ…。馬の視点で描かれる感動のドラマ。スピルバーグ監督で映画化
40	アラバマ物語	ハーパー・リー	暮しの手帖社	1971	933 リ	ある黒人男性が白人女性をレイプしたという罪で起訴される。人の子ども、スカウトとジェムの目を通して、ハーパー・リーは、豊かなユーモアと正直さをもって、1930年代のディープ・サウスの大人たちの人種と階級意識に対する不条理な姿勢を浮き彫りにする。
41	モール君のおとなはわかってくれない Part 1、2	スー・タウンゼント	評論社	1985	934 タ	「パート1」13歳のモール君、「パート2」15歳モール君の見たおとなの世界の奇妙な現実と真実。痛烈な皮肉と強烈な笑いを込めて、80年代の青春を鮮やかに描き出す話題の作品。モール君の悩みの数々。ああ、モール君のあしたはどっちだ！？青春の光と影、そして…大爆笑！？
42	地底旅行	ジュール・ヴェルヌ	東京創元社	1987	953 ウ	謎のルーン文字を手がかりに地球の中心への冒険旅行に出かけることになったリデンプロック教授と助手のアクセル。途中、道案内のハンズもくわわり、三人は休火山の噴火口から地底へとむかう…。SF作家として名高いジュール・ヴェルヌの傑作の完訳。
43	八十日間世界一周	ジュール・ヴェルヌ	東京創元社	1987	953 ウ	一八七二年一〇月二日午後八時四五分、ロンドンの謹厳な資産家にして知識人フィリアス・フォッグ氏は、多くの新聞が一斉にとりあげ狂気の沙汰と評した、八〇日間世界一周の旅に出た。彼はトランプ仲間と、一秒でも遅れると全財産を失うことになる賭をしたのだ。

